

経済・金融 フラッシュ

商業販売統計 10年9月

～小売業は前月比▲3.0%と、減速が鮮明に

経済調査部門 研究員 桑島 滋

TEL:03-3512-1838 E-mail: kuwahata@nli-research.co.jp

1. 小売業は前月比▲3.0%と減速が鮮明に

10月28日に経済産業省から公表された10年9月の商業販売統計速報によると、小売業販売額は前年比1.2%の10兆6690億円と、9ヵ月続けて増加したが、8月の同4.3%から伸びが大きく鈍化した。季節調整済前月比では▲3.0%と、4ヵ月ぶりに減少した。物価変動の影響を除いた実質値(当研究所試算値)では前年比2.0%と、16ヵ月連続の増加となったものの、増加幅は前月から縮小した。

小売業及びコンビニエンスストア販売額(増減率)

	小売業								コンビニエンスストア販売額	
	前月比	前年比	大型小売店				スーパー		前年比(既存店)	前年比(既存店)
			前年比	前年比(既存店)	百貨店	スーパー				
09年7月	0.4	▲2.4	▲7.0	▲8.4	▲12.8	▲11.8	▲2.9	▲6.0	▲5.1	▲7.5
8月	0.5	▲1.8	▲5.0	▲6.8	▲10.3	▲8.9	▲2.3	▲5.7	▲3.0	▲5.6
9月	0.6	▲1.3	▲4.2	▲5.6	▲9.5	▲7.8	▲1.1	▲4.3	▲2.4	▲5.7
10月	▲0.6	▲1.0	▲6.4	▲7.2	▲12.3	▲10.6	▲2.7	▲5.2	▲2.9	▲5.6
11月	0.0	▲1.1	▲9.0	▲9.7	▲13.5	▲11.8	▲6.1	▲8.3	▲3.6	▲6.4
12月	▲0.3	▲0.2	▲4.2	▲4.6	▲7.0	▲5.1	▲2.3	▲4.3	▲2.8	▲5.7
10年1月	2.0	2.3	▲5.1	▲5.7	▲7.4	▲5.7	▲3.7	▲5.7	▲2.5	▲5.5
2月	0.9	4.2	▲3.4	▲4.0	▲7.4	▲5.3	▲1.2	▲3.3	▲1.8	▲4.9
3月	0.8	4.7	▲4.1	▲4.9	▲5.6	▲3.6	▲3.2	▲5.6	▲2.4	▲5.1
4月	0.5	4.9	▲3.1	▲3.7	▲6.0	▲3.7	▲1.5	▲3.7	▲1.2	▲3.9
5月	▲2.0	2.9	▲3.2	▲3.9	▲4.1	▲2.1	▲2.8	▲4.8	▲0.8	▲3.7
6月	0.4	3.3	▲2.4	▲3.1	▲7.4	▲5.7	0.4	▲1.6	1.2	▲1.4
7月	0.7	3.8	▲1.0	▲1.3	▲3.2	▲1.4	0.5	▲1.2	2.9	0.3
8月	1.4	4.3	▲1.3	▲1.8	▲5.0	▲3.0	0.4	▲1.3	3.2	0.7
9月	▲3.0	1.2	▲1.1	▲1.7	▲6.4	▲5.0	1.8	0.1	15.1	12.2

(資料)経済産業省「商業販売統計」

業種別では、前年比▲2.5%と、08年4月以降減少が続いている各種商品小売業に加え、織物・衣服・身の回り品小売業が同▲2.0%、医薬品、化粧品などのその他小売業が同▲0.9%となり、公表されている7業種中3業種で減少した。一方、増加した業種については、猛暑の影響からエアコンを中心に機械器具小売業が前年比8.3%(8月:同9.9%)と高い伸びを維持したものの、消費回復の牽引役となっていた自動車小売業は、9月7日のエコカー補助金申請受付終了を受けて、それ以降の低迷が響き、前年比1.1%(8月:同17.9%)と低い伸びに留まった。

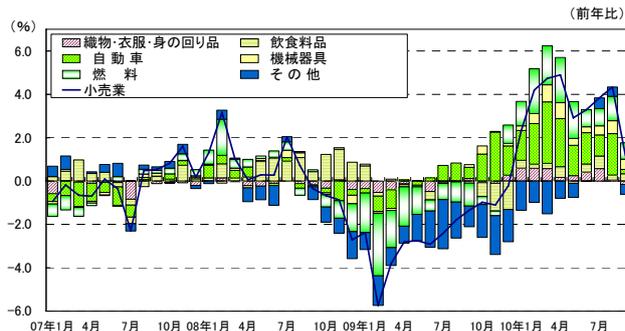
小売販売額の推移



(資料)経済産業省「商業販売統計」

(注)実質値については、消費者物価指数(「財」から「電気・都市ガス・水道」を除いたもの)により実質化
10年9月分については、当社予測値にて実質化

小売業販売額(業種別寄与度)



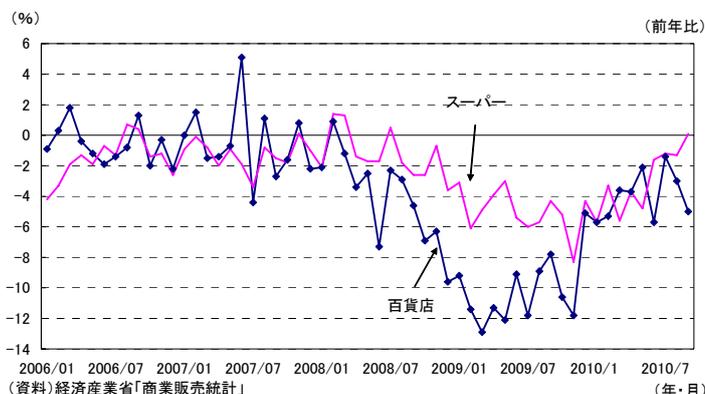
(資料)経済産業省「商業販売統計」

2. たばこ値上げ直前の駆け込み需要からコンビニが前年比 15.1%と大きく増加

10年9月の大型小売店の販売額（百貨店とスーパーの合計）は1兆4781億円、既存店ベースで前年比▲1.7%となり、30ヵ月連続して前年を下回った。百貨店は前月から悪化幅が拡大したものの、スーパーでは前年比0.1%となり、2008年7月以来、2年3ヵ月ぶりに増加に転じた。

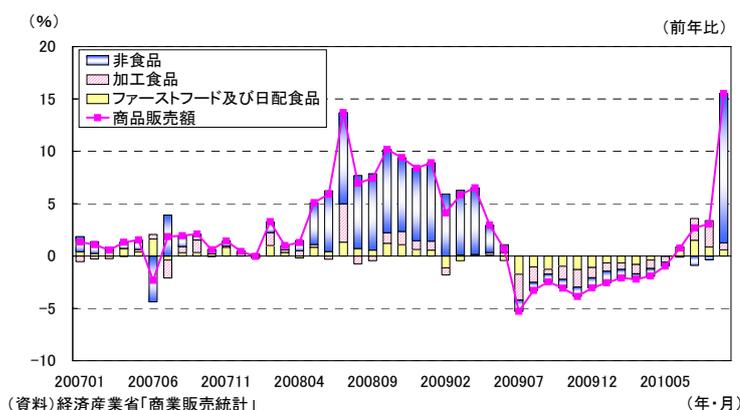
百貨店販売額（既存店）を商品別にみると、紳士服・洋品が前年比▲10.4%、（8月：同▲3.3%）、婦人・子供服・洋品が前年比▲8.3%（8月：同▲4.8%）となるなど、販売額の4割強を占める衣料品全体で減少幅が拡大（8月：前年比▲4.6%⇒9月：同▲8.3%）した。猛暑が長引いたことにより、秋物衣料の不振が響いたものと考えられる。その他の商品では、飲食料品が▲2.8%と先月に続いて減少したことに加え、家庭用品でも、前年比▲0.1%と、3ヵ月ぶりに減少に転じた。

百貨店及びスーパー販売額推移(既存店ベース)



コンビニエンスストア販売額（商品販売額及びサービス売上高）は7610億円、前年比15.1%（全店ベース）と大きく増加した。10月1日からのたばこ値上げに伴う駆け込み需要から、非食品（前年比42.6%、8月：同▲1.1%）が大幅増加となったことが販売額の増加に大きく寄与している。その他の商品では、加工食品（前年比2.2%、8月：同8.1%）、ファーストフード及び日配食品（前年比1.7%、8月：同2.4%）ともに前月から増加幅が縮小した。

コンビニエンスストア商品販売額(全店ベース 寄与度)



9月の小売業販売は、たばこの駆け込み需要からコンビニなど一部で強い動きを見せたものの、エコカー補助金の申請受付終了に伴い、9月初旬以降自動車販売が低迷したことなどから、総じて弱い動きとなった。個人消費の先行きについては、賃金の増加など所得環境の改善が下支え要因となるものの、駆け込み需要の反動減による影響が大きく、非常に弱い動きとなることが懸念される。